

平成24年第2回定例会 議会報告

(平成24年 6月7日～6月28日)

かみくら

秦野市議会議員

神倉ひろあき



●6月7日から始まった、第2回定例会は、議案審議、一般質問、常任委員会、議会活性化特別委員会、と続き6月28日、委員長報告をもって終了しました。

以下、私の一般質問、議会活性化特別委員会委員としてのご報告をいたします。

★一般質問 1. 問題行動等生徒指導上の諸問題について

(1) 中学校の暴力行為について・・・多発する校内暴力に危機意識を持って対処せよ！

質問 文部科学省の調査によれば、小中高校生による暴力行為は沈静化せず、子ども達の暴力に学校が苦しんでいる。教師や同級生に対する暴力は増加し凶暴化しており、文部科学省は学校だけで抱え込むべきでないという立場と取っている。こうした状況下にあるとはいえ新聞によれば本市の同じ中学校で、昨年来、4件起きた暴力事件では、教師は重傷を負い、生徒の逮捕者まで出している。事態を憂い学校教育の健全化を求め、全ての子ども達一人ひとりの幸福を願い生徒指導について伺う。①市内中学校での、直近3ヶ年間の暴力行為及び、「いじめ」発生件数。②昨年10月以降、暴力行為が相次いだ中学校では、昨年度の暴力行為の件数、逮捕者数。③暴力行為等が多発する状況は、いつ頃から、なぜ、起こったのか。④逮捕に至るまでの経過と対策等の取組みはどうか。⑤全校生徒に不安を与え、悪影響が出ていると思われる。正常化に向け、どのような方策を考えているのか。

回答 ①直近3ヶ年間の暴力行為：平成21年度総数115(生徒間60、対教師12、器物破損41、対人2)、いじめ65
平成22年度総数126(59、24、39、4)、いじめ61 平成23年度総数141(68、29、36、8)、いじめ59。

②34件で、逮捕者数2人 ③昨年秋ごろから多発。・なぜ：規範意識、人間関係作り、感情抑制力の低下、同じ生徒が繰り返す。④経過：学校では事件を起こすごとに、被害者への謝罪、説諭、家庭への協力依頼、関係機関との連携。・教育委員会の取組み：指導体制の指導助言、関係機関との連携、保護者・生徒への対応支援、関係機関との連携、非常勤講師と部活顧問各1名派遣、教員OBの授業支援、指導主事の派遣 学校地域PTAの連携：PTAによる授業の見守り、地域支援会議による見守り、防犯カメラの設置。⑤園長校長会等での「未然防止は最大の対応策」という視点で「開かれた学校づくり」を進める。警察等関係機関と連携したサポートチームを立ち上げる。保護者や地域の協力を得て生徒指導に努める。教育委員会は、これらに全力で支援にあたる。

2次質問 ①暴力多発中学校では過去3カ年間における暴力行為の発生件数と逮捕者数はどのようなか。
②平成21年第4回定例会で質した暴力多発中学でのガラス21枚破損事件で未弁済の生徒は、弁済したのか。
③未弁済の場合、時効が成立していないか。
④暴力多発中学で全生徒に対するフォローアップをしているのか
⑤「対教師暴力への対応マニュアル」はあるのか。
⑥教育委員による生徒指導の点検と評価は実施したのか。
⑦「学校警察連携制度」を早期に締結すべきと思うがどうか
⑧暴力行為を未然に防ぎ生徒、保護者、教員の人権を守る「学校運営健全化維持のための条例」の制定を提案するが、いかがか。



回答 ①暴力行為：平成21年度25件、22年度20件、23年度34件。逮捕者数：平成21年度2人、22年度3人、23年度2人、24年度2人 ②弁済していない。③成立している可能性がある。④スクールカウンセラーで対応している。

- ⑤ない。今後、他市の取組みを参考に作成していく。⑥「生徒指導」「いじめ・不登校」の点検・評価はしていない。
 ⑦締結に向け準備をしている。県下、12市町村、14団体が締結し実効性が上がっている。
 ⑧主旨を受けとめ検討させて頂きたい。

意見 ①暴力多発中学は、数年前から暴力が多発し逮捕者が出ている。今まで学校正常化に向けての対策が不十分なため、こうした事態が沈静化しない。学校、教育委員会とも緊張感が無く危機管理意識に欠け見通しが甘い。
 ②小学生の保護者から、あの暴力多発中学校には通わせたくない。何とかして欲しいと言う要望が多数きている。
 ③器物破損の弁済については、生徒本人に社会的責任を自覚させるためにも毅然たる姿勢で臨むべきである。
 ④子ども達が安心・安全に学校生活を送り夢と希望を持てる環境づくりこそ学校と行政に課せられた責務である

要望 ①教育委員は、事業のみならず生徒指導を始め教育の重点施策を総括し点検・評価することを要望する。
 ②出席停止について研究して要綱を改定し運用可能な状態にしていただきたい。
 ③教師の身の安全、教育向上に向け「対教師暴力対応マニュアル」を早急に作成して欲しい。
 ④他自治体で運用されている「児童生徒の器物破損に係る費用弁済会計処理システム」の構築を願いたい。
 ⑤「学校警察連携制度」は、早急に締結して欲しい。

★この議会でのやり取りが6月19日神奈川新聞に「秦野市立中 多発する校内暴力」の見出しで掲載されました。

2. 通学路の安全・安心の確保について・・・学校・警察・道路管理者は連携し、通学路の総点検を！

質問 4月、京都府で、集団登校中の小学生の列に、無免許、居眠りの軽自動車が突っ込み10人を死傷させた少年の暴走事故は通学路の安全点検や集団登校の在り方を問い直さねばならないものとして私達に衝撃を与えた。文部科学大臣は、緊急メッセージを発表し「学校安全の推進に関する計画」を踏まえ通学路の安全確保に努めるよう各地域に要請した。これを受けて、各地の自治体からは、地域に即した通学路対策が出されているが、
 ①本市では、**通学路の安全点検を実施したのか**。②**安全に不安を感じる箇所**は、どのくらいあったのか。また、不安を解消する対策はどのようなか。③**今後の通学路の安全確保**を、どのように推し進めていくのか。

回答 ①各学校が作成した通学路図を基に学校の交通安全担当やPTA交通担当による**通学路安全点検確認**をしている。整備・改善は、「**通学路整備要望書**」として教育委員会に提出。②平成23年度通学路整備要望箇所数は49箇所あった。**不安解消対策**：教育委員会が現場確認、要望箇所の写真を基に警察、道路・交通所管部署との検討し対策を決める。③国からの依頼を機に、**警察、道路管理者、学校、PTA、自治会、地域の方々等との連携**を密に、一同に会して**通学路の点検を実施**していく。

要望 学校の要望以外に、各地域から**交通安全に係る要望**が出されている。関係機関が連携し迅速に対応をねがいたい。通学路の安全と共に、**市民の安心・安全対策**に努めて頂きたい。



★**議会活性化特別委員会**：議員定数削減が実現！（選挙公約を果たすことができました！！）

・議定議案第1号

議員定数を定める条例の一部を改正することについて【可決】

次期改選から、2名の定数が削減されることになりました。・・・議員定数が26名から24名になります。

・議会活性化特別委員会の委員として、さまざまな議論を約1年間行ってまいりました。

昨年の選挙でも、公約に掲げ、市民の皆様にも賛同を頂いた議員定数削減問題を一定の方向に導けた事に感謝すると共に嬉しく思います。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPにて、録画配信しています。」是非ご覧ください。

●秦野市浜沢2-5-13 TEL&FAX 0463-88-3655 携帯:090-3533-8034 Eメール: kamikura5@yahoo.co.jp